

大学院教育学研究科・教育学部所属学生対象

2017年度（平成29年度）

グローバル・リーダー育成、スウェーデン研修プログラム 募集要項

1. 趣旨

スウェーデンのストックホルム大学教育学部（平成26年度に学術交流協定を締結）と共同で、大学院学生及び学部学生を対象とする研修プログラムを実施します。本年度のプログラムでは「多様性をはぐくむ教育」について学生たちの理解を深めることを目的とし、現地（スウェーデン）の学校訪問、ストックホルム大学教育学部の学生たちとの意見交換会、国際シンポジウム参加を予定しています。プログラム期間中、パリ（フランス）に移動して国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）と経済協力開発機構（OECD）訪問を予定しています。

（プログラム責任者）

北村友人准教授（教育実践・政策学コース・教育内容開発コース）

2. 期間（予定）※日程はストックホルム大学他関係先と調整中です。訪問機関の事情等により出発までにスケジュールが変更となる可能性があります。

2018年（平成30年）2月18日（日）～2018年（平成30年）2月25日（日）（8日間）

3. プログラム日程（予定）※日程変更の可能性あり

1日目 2月18日（日）	（午前）成田空港 集合・出発、ストックホルム 到着 （ストックホルム泊）
2日目 2月19日（月）	ストックホルム大学にて大学紹介、キャンパスツアー・市内観光等による現地学生との交流 （ストックホルム泊）
3日目 2月20日（火）	国際シンポジウム「多様性をはぐくむ教育」（ストックホルム大学）への参加・発表、ストックホルム大学教育学部の学生との意見交換会 （ストックホルム泊）
4日目 2月21日（水）	ストックホルムにて学校訪問等 （ストックホルム泊）
5日目 2月22日（木）	航空便でパリへ移動、ユネスコ本部等 訪問 （パリ泊）
6日目 2月23日（金）	OECD 本部等 訪問 （パリ泊）
7日目 2月24日（土）	航空便でパリ出発 （機内泊）
8日目 2月25日（日）	（昼頃）羽田空港 到着・解散

4. 研修場所

ストックホルム（スウェーデン）、パリ（フランス）

5. 申請資格・条件

- ① 申請時・研修期間を通じて東京大学大学院教育学研究科・教育学部正規課程（博士・修士・学士課程）に在籍する者（研修期間中に休学している者を除く）
- ② 英語でのコミュニケーション、現地学生との意見交換、国際シンポジウム参加に十分な意欲のある者
- ③ 参加に要する経費（大学からの補助分を除く）を自己負担できる者
- ④ 全日程に参加が可能な者

6. 費用

プログラム参加による学生の研究・交流活動の一助とするため、旅費の一部をプログラムで補助します。現地宿泊代の一部およびその他の費用は参加者の自己負担となります。全員が同じ航空便・宿泊先を利用し、プログラムで手配します。

<プログラムによる補助>

プログラムが往復航空券代、現地宿泊代の一部を負担する。

<自己負担>

現地宿泊代 40,000 円前後（一泊約 11,000 円/人）、その他諸経費（現地交通費・食費等）を自己負担する。

7. 申請書類

- ① 申請書（所定様式） ② 成績評価係数表（所定様式）
- ③ 在籍課程（学部学生は後期課程）の成績証明書の写し ④ 英語等の語学能力試験結果の写し（該当者のみ）

申請書類様式は学生支援チームホームページよりダウンロード。

8. 申請締切・申請方法

10月17日（火）17時【厳守】

学生支援チーム窓口へ申請書類①～④を提出。申請書類①②はデータも提出。

9. 選考方法

一次選考（書類審査）→ 二次選考（面接審査）→ 参加者決定（11月中旬）

10. 事前研修

派遣決定後に事前研修（2回：12月上旬と1月下旬）を行います（参加必須）。第1回はオリエンテーションとシンポジウムでの発表グループ分けを行います（大学院学生は個人発表奨励）。第2回はシンポジウムの発表練習（発表スライドを用いて）を行います。

11. 終了後の報告等

- ① 帰国後2週間以内に研修参加報告書（書式は別途指定）を提出します。
- ② 説明会やアンケート調査への協力等、派遣後に依頼があった場合には可能な限り協力してください。

その他注意事項

- ① 申請後の申請取り下げ及び派遣決定後の辞退は、原則認めません。
- ② 派遣者はプログラムの定める準備・報告を行い、所定の手続きを経ます。
- ③ パスポート取得、派遣先国や地域の情報収集を含む渡航準備は、本人の責任により行って下さい。危機管理等について、プログラム参加前に「東京大学海外留学・国際交流情報」ウェブサイト及び『海外危機管理ガイドブック』を熟読して下さい。
<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/>
- ④ 派遣者は研修期間中の保険として「付帯海学」（交易財団法人日本国際教育支援協会の学研災付帯海外留学保険）に加入します。加入にあたっての詳細は派遣者に追って説明します（各自加入が必要、加入に要する経費は自己負担）。
- ⑤ 申請資格・条件を満たしていないと判明した場合、その他派遣が適当でないと認められた場合は派遣決定後であっても派遣を取り消すことがあります。
- ⑥ 障害等のある者は派遣上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する場合は申請時に国際交流室に申し出て下さい。

問合せ・申請先

大学院教育学研究科・教育学部 国際交流室・学生支援チーム（国際交流担当） exchange@p.u-tokyo.ac.jp